

X 第6次NACCS EDI仕様書<2>

平成27年10月14日

輸出入・港湾関連情報処理センター株式会社



1. 第6次NACCS EDI仕様書の改変事項について（前回WGにおける提示内容）

- 第6次NACCSのEDI仕様書においては、これまでのWGでの議論を踏まえ、主に下表に示す点について改変を行うことを予定している。（前回WGにて提示済み）

表. 第6次NACCS EDI仕様書改変事項

項番	改変項目	改変内容
1	NACCSパッケージソフト メール処理方式の原則提供終了	ゲートウェイ配下の利用者様を除き、NACCSパッケージソフト メール処理方式の提供を終了する。これに伴い、関係する箇所を変 更・削除する。
2	ダイレクト・インターフェース（DI） 処理方式の廃止	ダイレクト・インターフェース（DI）処理方式の廃止に伴い、関係 する箇所を削除する。
3	自社システム接続利用者様における NACCSの各サーバへのアクセス方法 の変更	第6次NACCSにおけるバックアップ機能の改善に伴い、自社シス テム接続利用者様においてNACCSの各サーバにアクセスする際、 IPアドレスを直接指定する方法から、DNSサーバを参照してIP アドレスを取得する方法に変更する。これに伴い、NACCSの各 サーバへのアクセス方法に関する記載を追記する。
4	メインセンター～バックアップセンター間 の切替時における利用者様側の対応	メインセンター～バックアップセンター間の切替において、利用者様 は特段意識する必要がない旨を追記する。
5	IPアドレス変換禁止ルール緩和	第5次NACCSにおいて実施されていた、NACCSネットワーク 接続におけるIPアドレスの変換（NAT）の禁止について、一定の 条件を満たす場合であれば、IPアドレスの変換を可能とする旨を追 記する。
6	添付ファイル名の日本語対応及び利用可能拡 張子	<u>通常の添付ファイル業務に加え、MSX業務及びMSY01業務においても</u> 添付ファイル名に日本語を使用することを可能とする。また、添付可 能なファイルの拡張子について規定する。※利用可能な拡張子につい ては現時点での案であり、今後関係省庁と調整の上、決定する予定。
7	その他	e b M S処理方式に使用するサーバ証明書の利用ルールを明確化する。

1. 第6次NACCS EDI仕様書の改変事項について（今回の提示内容）

- セキュリティの強化を目的として、利用者パスワードの仕様について下表の項番8～10の改変を行う。また、添付ファイルの拡張子として項番11に示すもののみを利用可とする。
- 利便性の向上を目的として、最大電文長及び添付ファイルの最大サイズの拡張を行う（項番12、項番13）。
- 上記の変更箇所について、別添資料にEDI仕様書の抜粋を示す。

表. 第6次NACCS EDI仕様書改変事項（続き）

項番	改変項目	改変内容
8	利用者パスワードの仕様	【文字数】 パスワードの文字数が、6文字以上8文字以下であること。
9		【使用文字種】 パスワードは半角英大文字と半角数字を用いること。また、パスワードの文字種に半角英大文字と半角数字をそれぞれ最低1文字以上含んでいること。
10		【履歴管理】 現在の世代を含めて3世代分のパスワードを記録し、パスワード変更の際、これらのパスワードへの変更を不可とする。
11	添付可能なファイルの拡張子（再掲）	各種添付ファイル業務において添付可能な拡張子を以下のように限定する。 <u>特にこれまで一部の業務で利用可能であったZIP形式及びLZH形式ファイルの添付を不可とする。</u> 【添付ファイルに利用可能な拡張子】 “txt”、“doc”、“docx”、“ppt”、“pptx”、“xml”、“htm”、“html”、“rtf”、“jtd”、“xls”、“xlsx”、“csv”、“jpeg”、“jpe”、“jpg”、“tif”、“tiff”、“bmp”、“gif”、“png”、“pdf”、“jet” （“png”を前回から追加している。）
12	最大電文長	700KBに拡張
13	最大添付ファイルサイズ	10MBに拡張